

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 17 年 9 月 29 日 (2005.9.29)

【公開番号】特開 2003-326776 (P2003-326776A)
 【公開日】平成 15 年 11 月 19 日 (2003.11.19)
 【出願番号】特願 2002-139419 (P2002-139419)
 【国際特許分類第 7 版】

B 4 1 J 5/30

B 4 1 J 29/20

B 4 1 J 29/38

G 0 6 F 12/14

H 0 4 N 1/21

【F I】

B 4 1 J 5/30 Z

B 4 1 J 29/20

B 4 1 J 29/38 Z

G 0 6 F 12/14 3 2 0 F

H 0 4 N 1/21

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 5 月 12 日 (2005.5.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像データを入力する画像入力手段、前記画像入力手段により入力された画像データを順次記憶する画像記憶手段、前記画像記憶手段に記憶された画像データを読み出す画像読み出し手段、前記画像記憶手段を複数のボックス領域に分けて管理するボックス管理手段、画像データを任意のボックス領域に記憶させるボックス記憶手段、任意のボックス領域から任意の画像データを指定して画像を読み出すボックス読み出し手段、前記任意の画像データの読み出し回数をカウントする手段、前記任意の画像データの読み出し制限回数を設定する手段、前記任意の画像データが読み出し可能かどうかを判断する判断手段とを有することを特徴とする画像入出力システム。

【請求項 2】

請求項 1 の画像入出力システムにおいて、前記判断手段は、前記カウント数が前記制限回数以下のときに、読み出し可能と判断し、読み出し可能と判断したときに、前記任意の画像データの読み出しを許可することを特徴とする画像入出力システム。

【請求項 3】

画像データを入力する画像入力手段、前記画像入力手段により入力された画像データを順次記憶する画像記憶手段、前記画像記憶手段に記憶された画像データを読み出す画像読み出し手段、前記画像記憶手段を複数のボックス領域に分けて管理するボックス管理手段、画像データを任意のボックス領域に記憶させるボックス記憶手段、任意のボックス領域から任意の画像データを指定して画像を読み出すボックス読み出し手段、前記任意の画像データの読み出し制限回数をジョブ種毎に設定する手段、前記任意の画像データの読み出し回数をジョブ種毎にカウントする手段、前記任意の画像データが読み出し可能かどうかを判断する判断手段とを有することを特徴とする画像入出力システム。

【請求項 4】

請求項 3 の画像入出力システムにおいて、任意のボックス領域から任意の画像データを指定して画像を読み出す際に、ジョブ種を判断するジョブ種判断手段を有し、前記判断手段は、前記ジョブ種毎のカウント数が前記ジョブ種毎の制限回数以下のときに、読み出し可能と判断し、読み出し可能と判断したときに、前記任意の画像データの読み出しを許可することを特徴とする画像入出力システム。

【請求項 5】

画像データを入力する画像入力手段、前記画像入力手段により入力された画像データを順次記憶する画像記憶手段、前記画像記憶手段に記憶された画像データを読み出す画像読み出し手段、前記画像記憶手段を複数のボックス領域に分けて管理するボックス管理手段、画像データを任意のボックス領域に記憶させるボックス記憶手段、任意のボックス領域から任意の画像データを指定して画像を読み出すボックス読み出し手段を有する画像入出力システムの制御方法であって、

前記任意の画像データの読み出し回数をカウントする工程、前記任意の画像データの読み出し制限回数を設定する工程、前記任意の画像データが読み出し可能かどうかを判断する判断工程を有することを特徴とする画像入出力システムの制御方法。

【請求項 6】

請求項 5 の画像入出力システムの制御方法において、前記判断工程は、前記カウント数が前記制限回数以下のときに、読み出し可能と判断し、読み出し可能と判断したときに、前記任意の画像データの読み出しを許可することを特徴とする画像入出力システムの制御方法。

【請求項 7】

画像データを入力する画像入力手段、前記画像入力手段により入力された画像データを順次記憶する画像記憶手段、前記画像記憶手段に記憶された画像データを読み出す画像読み出し手段、前記画像記憶手段を複数のボックス領域に分けて管理するボックス管理手段、画像データを任意のボックス領域に記憶させるボックス記憶手段、任意のボックス領域から任意の画像データを指定して画像を読み出すボックス読み出し手段を有する画像入出力システムの制御方法であって、

前記任意の画像データの読み出し制限回数をジョブ種毎に設定する工程、前記任意の画像データの読み出し回数をジョブ種毎にカウントする工程、前記任意の画像データが読み出し可能かどうかを判断する判断工程とを有することを特徴とする画像入出力システムの制御方法。

【請求項 8】

請求項 7 の画像入出力システムの制御方法において、任意のボックス領域から任意の画像データを指定して画像を読み出す際に、ジョブ種を判断するジョブ種判断工程を有し、前記判断工程は、前記ジョブ種毎のカウント数が前記ジョブ種毎の制限回数以下のときに、読み出し可能と判断し、読み出し可能と判断したときに、前記任意の画像データの読み出しを許可することを特徴とする画像入出力システムの制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

(2) 前記(1)記載の画像入出力システムにおいて、前記判断手段は、前記カウント数が前記制限回数以下のときに、読み出し可能と判断し、読み出し可能と判断したときに、前記任意の画像データの読み出しを許可することを特徴とする画像入出力システム。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

(4) 前記 (3) 記載の画像入出力システムにおいて、任意のボックス領域から任意の画像データを指定して画像を読み出す際に、ジョブ種を判断するジョブ種判断手段を有し、前記判断手段は、前記ジョブ種毎のカウント数が前記ジョブ種毎の制限回数以下のときに、読み出し可能と判断し、読み出し可能と判断したときに、前記任意の画像データの読み出しを許可することを特徴とする画像入出力システム。